

## 令和7年度 かえで支援学校 働き方改革推進計画

### 1 令和7年度の本校での「学校における働き方改革」における重点的な取り組みについて

#### ■勤務時間管理

- (1) 最終退校時間19:30を目指し、遅くも20:00 完全退校とする。
- (2) 定時退校日(きずなの日)を年間20回設定し、退校時間を18時とする。  
設定された完全定時退校日に退校できない場合は別日を設ける等、柔軟に対応する。
- (3) 時差出勤(早出早帰り)を奨励する。  
定時より早く出勤した場合は、その分早く退勤することができる。  
ただし、授業時間や会議等がある場合は対象外とする。
- (4) 土日・休日勤務縮減。月4日以内とする。
- (5) 勤務時間外在校等時間数を、月80時間を超える教職員をゼロにする。
- (6) 長期休業中の一定の閉庁日を設定する。
- (7) 長期休業中については、時短勤務を推奨し、エネルギー充填に努める。
- (8) 年次有給休暇、特別休暇の管理。年休取得19日を目指す。
- (9) 空き時間の確保。学部主事、学年主任による空き時間取得状況の把握及び管理。

#### ■業務の精選・効率化・明確化

- (1) 各学部・分掌・委員会の取り組み

※今年度は活動計画と申し送りを作成する。

##### ○会議運営の効率化

- ・会議内容の焦点化
- ・資料の事前配付 + 会議は質疑応答・協議(会議時間の縮小)
- ・会議は目標30分、長くても60分以内を目指す。

○日々の業務でその都度共通確認をしていく。

○ICT技術による情報を共有、作業の効率化を図る。PLC ノートやマチコミ、Fsv等の積極的活用やExcel、VBAを活用した資料作成の自動化を図り、打ち合わせや会議時間、資料作成時間を削減し、時間の有効活用を行う。

○他学部、他分掌との連携

○レポート内容や資料の簡略化(初任研、その他作成資料等)

- (2) 管理職による分掌統合や文書作成の簡略化等による教員の負担軽減
- (3) 外部団体・大学等からのアンケート調査等への対応の精選

#### ■PTA・地域・関連諸団体との連携

- (1) 地域ボランティアの活用

#### ■部活動運営について

- (1) 部活動指導の整理

### 2 進捗管理について

#### ■方法

- (1) 毎月、運営委員会後に前月の在校等時間及び休日出勤について報告を行い、教職員の勤務時間管理に対する意識を高める。
- (2) Forms を使用して「令和7年度本校での『学校における働き方改革』における重点的な取り組み」について、実施状況の確認を行う。(年2回)
- (3) 実施状況のデータを基に、検証を行い、課題や改善策について検討を行い、更なる働き方

- 改革の推進に努める。
- (4)「働き方改革校内ワークショップ」を実施し、「働き方改革」に係るアイデア出しを行い、学校現場に反映させる。

■行程

日程	実施内容
4月16日(水)	令和7年度本校での「学校における働き方改革」による重点的な取り組みについての提案
5月頃	「働き方改革校内ワークショップ」の実施(指導主事による)
7月 9日(水)	Forms を使用して「令和7年度本校での『学校における働き方改革』における重点的な取り組み』について実施状況の確認を行う。 →管理職による検討
8月26日(火)	2学期以降の方針提示
2月24日(月) 3月11日(水)	Forms を使用して「令和7年度本校での『学校における働き方改革』における重点的な取り組み』について実績や課題等の検証を行い、本年度のまとめを行う。